

# インターネットを用いた 牛舎施設のモニタリング



KIDA Tamaki  
喜田 環 樹  
家畜生産管理部 調製工学研究室

酪農の経営規模拡大に伴い、給飼や堆肥化処理のための作業量は増大しており、作業の省力化のため、自動給飼機や堆肥化処理施設等の施設機械が普及してきています。それらの機器によって作業は大幅に省力化されましたが、従来は牛舎作業を通じて酪農家が得ていた牛の状態等の飼養管理情報を得にくくなる問題も指摘されています。

そこで自動給飼機・堆肥処理施設の稼動状況を記録管理し、その履歴を管理できるデータベースを作成しました。さらに、牛舎内にライブカメラを設置

し、牛舎の牛の様子や機器の稼動状況をリアルタイムで見ることができるようになりました。これらの組み合わせることにより、24時間いつでも、自宅や、出先から、パソコンとインターネットを用いて、牛舎の様子を簡単にモニタリングすることができます。

現在、牛舎にシステムを設置し、試験公開中です(<http://pc211.ngri.affrc.go.jp/>)。これらの研究を通じて、省力的な飼養管理技術の開発に取り組んでいます。

